

平成24年度一般会計予算 17億4000万円で編成

平成24年度当初予算の概要をお知らせします。厳しい財政状況が続く中、引き続き経常経費の削減に努めるとともに、将来を見据えた施策に取り組むため予算編成を行い、本年度の一般会計予算は総額17億4000万円となりました（前年度比3700万円減額）。

本年度予算は、主に生活環境や防災対策、学校教育の推進等に重点を置いた予算となっております。

また、地方交付税措置のある過疎対策事業債の活用を行うものの、財源不足を補うため、財政調整基金から6500万円の繰り入れを行いました。

歳入

歳入は、税収などの「自主財源」と国や県に頼った「依存財源」の大きく2つに分けられます。「自主財源」が多いほど、村独自のサービスを行ったり、将来に向けて積立を行うなど行政の自主性と安定性が確保されます。東秩父村は、「自主財源」が全体の21・5%で、昨年度より増加しましたが、依然として財源の多くを「依存財源」が占めている状況です。

一般会計予算における歳入は、前年度と比較して、長引く経済不況により、個人住民税や固定資産税などの村税は333万円減少し、国・県支出金も減少となりましたが、村の歳入の骨格である地方交付税は、昨年度よ

歳出

り2400万円の増額とし、9億9900万円を見込みました。（歳入総額の57・4%）

歳出は、総務費、民生費、衛生費、教育費等が減額となったものの、土木費、消防費等が増額となりました。

性質別歳出は「義務的経費」と「投資的経費」、「その他の経費」に分けることができます。「義務的経費」は人件費、扶助費、公債費で構成され、支出が義務づけられている経費で、人件費は前年度と比較して6340万円の減額となりました。

投資的経費は、道路や公共施設の建設など行政水準の向上にかかる経費で、普通建設事業費、災害復旧事業費から構成されま

主要事業

す。今年度の投資的経費は2億451万円で、前年度と比較して4324万円増額しました。

平成24年度の主要事業は、村道1・2号線（萩平からふれあい広場へ）道路改築事業の設計業務を進め、生活交通網の基盤整備を行います。また、児童・生徒が快適で安全な学校生活が送れるように、東西小学校体育館の耐震補強を行い、教育環境の整備を進めます。

防災対策として防災情報通信システム構築のための設計業務や、避難所に災害時優先電話を設置するほか、災害時に備えて防災倉庫や発電機、備蓄食糧の確保など防災に強い村づくりを推進していきます。さらに東秩

会計別予算額

（単位：千円、%）

会計名	平成24年度	平成23年度	増減額	伸び率	
一般会計	1,740,000	1,777,000	△37,000	△2.1	
特別会計	国民健康保険	450,000	443,000	7,000	1.6
	介護保険	417,600	403,600	14,000	3.5
	合併処理浄化槽事業	63,000	56,000	7,000	12.5
	後期高齢者医療	36,500	34,200	2,300	6.7
	簡易水道事業	83,600	75,700	7,900	10.4
	村営バス事業	20,200	18,800	1,400	7.4
	計	1,070,900	1,031,300	39,600	3.8
予算総額	2,810,900	2,808,300	2,600	0.1	

特別会計

父村和紙の里の遊歩道の整備や、トイレの洋式化など観光事業の充実を図ります。

村では、一般会計とは別に、特定の事業を行う場合に、そこから発生する特定の収入を支出

に充てて独立してやりくりする特別会計があります。国民健康保険特別会計や簡易水道事業特別会計など6つの特別会計の予算総額は10億7090万円で、前年度と比較して3960万円の増額となりました。